

[No.40号 Matrix, No.40\(Jul. 1, 2003\)](#)

- 1) 第77回例会（平成15年5月21日）概要 村上 馨
講演要旨 放置座礁外国船問題について 岩尾 雅之
講演要旨 PSCの現状について 溝口 正路
講演者のご紹介
- 2) 「海の日」特集
 - ・「海の日」特集にあたって 長尾 實三
 - ・これまでの「海の日」、これからの「海の日」 寺田 政信
 - ・「海の日」特集に寄せて 細野 嘉昭
 - ・海の日って？ 山村 晋一郎
 - ・海の日に思う 神田 修治
 - ・海の記念日に思う 非海洋国家日本、保険、サプスタンダード船問題 大橋 康人
 - ・グローバル化の象徴としての海 城野 隆史
 - ・夏の思い出、昔と今 本田 啓之輔
 - ・海の日一水と親しむ一 鈴木 敏夫
 - ・第8回海の日を迎えて改めてメガプロートの活用を 田中 藤八郎
 - ・河川水運のこと 在田 正義
 - ・風速、110ノットの思い出 柴田 康彦
 - ・海洋図書・資料の保管と閲覧 田淵 丈雄
 - ・古希のチャレンジ・マストの制覇 宮脇 正明
- 3) 会報（①79回例会予定、②会員情報）
- 4) 紹介「20世紀の船造り」 桑本 融氏 著作 長尾 實三
- PR 「船と海のサイエンス」第4号春季号発売 （独）海上技術安全研究所
大阪大学船舶海洋試験水槽公開のご案内 大阪大学 長谷川 和彦

[No.39号 Matrix, No.39\(Feb. 20, 2003\)](#)

- 1) 第76回例会（平成15年1月29日）概要 神田 修治
講演要旨 Prestige号事故について 吉田 公一
講演要旨 Prestige号海難による損害の補償 大橋 康人
- 2) 海難と便宜置籍船 宮脇 正明
- 3) リスクベース・ライフサイクルアセスメントの構築に向けて 小澤 守
- 4) 新しい海洋産業の創造事例に思う 池田 良穂
- 5) 海洋肥沃化装置「拓海（TAKUMI）の起工」 大内 一之
- 6) 海洋深層水利用研究の最新動向 大塚 耕司
- 7) In The Navy 大野 道夫
- 8) 企業から大学に転職して 小林 英一
- 9) テクノスーパーライナーによる小笠原観光について思う 田中 藤八郎
- 10) 国連地球温暖化対策の動きと海上交通 西川 栄一
- 11) エコ・プラットフォーム構想 -沿岸域整備における海からの視点- 細田 龍介
- 12) 会報（①77回例会 他） 編集後記 長尾 實三

No.38号 Matrix, No.38(Jan. 1, 2003)

1) 年頭のご挨拶

- ・新年のご挨拶 石谷 清幹
- ・ご挨拶 在田 正義
- ・“翼”についての二つの話 有井 俊彦
- ・最近の機械工学－Hardware Engineering－：雑感 今市 憲作
- ・新年雑感 岡田 紀代蔵
- ・造船新時代 その2 岡本 洋
- ・雑誌「海洋」表紙絵応募記 神田 修治
- ・JR 救急隊員死傷事故 齊藤 了文
- ・入会の弁 柴田 康彦
- ・瀬戸内の船旅 城野 隆史
- ・新年のご挨拶 鈴木 敏夫
- ・海技伝承 竹増 正信
- ・紀淡海峡大橋や関空南ルート of 沈埋、シールドトンネル 田中 藤八郎
- ・「運ぶ」を限りなく追及しよう！ 田淵 丈雄
- ・本研究会に参加して 南波 壮八
- ・時代の流れとこれからの海事教育 原 潔
- ・より深くからさらに遠くへ 古山 裕喜
- ・総合性のシナジー 星野 裕志
- ・安定、かつ、確実な海上交通 細野 嘉昭
- ・TAJIMA 事件について感じたこと 堀江 孟史
- ・改革の大風よ、天高くあがれ (商船大学の統合に想う) 本田 啓之輔
- ・美しい船 宮脇 正明
- ・進歩の光と影 村上 馨
- ・ご挨拶 山村 晋一郎

2) 第 75 回例会 (平成 14 年 11 月 29 日) 概要 村上 馨

- ・内航海運の現状と将来 野口 杉男

3) 会報 (①次回例会予定、②メイリングリスト、③会員情報)

4) 故・藤原 義則氏と MTS 長尾 實三

- ・手紙 (自筆) 藤原 義則
- ・故・藤原 義則氏の思い出 寺田 政信

5) スペイン沖タンカー沈没記事

- ・タンカー真つ二つ、沈没 h.14.11.20、産経新聞
- ・流出油、仏に迫る EU 対策強化 H.14.12.7、日本経済新聞
- ・タンカー“PRESITGE”の油濁事故について 2002.12.5、東京海上マリンニュース

6) 紹介「三鷹水槽ものがたり」・高石敬史著作集・ 在田 正義

[No.37号 Matrix, No.37\(Nov. 1, 2002\)](#)

- 1) 第74回例会(平成14年10月4日) 概要 村上 馨
講演要旨 第74回例会ご挨拶 石谷 清幹
講演要旨 Diesel Engine との私的つきあい 今市 憲作
・故・野本 謙作先生 追悼講演要旨
追悼 野本 謙作先生 長谷川 和彦
・故・野本先生の思い出
復元菱垣廻船「浪華丸」と野本 謙作先生の思い出 小嶋 良一
「アジア交流事業を振り返って」 小瀬 邦治・肥後 清
野本先生の思い出に寄せて 岡本 洋
- 2) 我が国の戦後の船舶の信頼性調査に関する考察と雑感 橋本 武
- 3) デンマークに学ぶー海洋架橋と超巨大洋上風力発電 田中 藤八郎
- 4) 琵琶湖のレジャーに条例の網 桂 陽三
- 5) 海国日本の夜明け 宮脇 正明
- 6) 会報 (EM コーナーで今後の例会テーマについてアンケート実施、他)
- 7) EM コーナー (前項に関する数件の回報を記載) 寺田 政信
- PR 「船と海のサイエンス」 秋季号発行 (独) 海上技術安全研究所
「水の循環 地球・都市・生命をつなぐ “くらし革命”」 鷲尾 圭司 他 著 藤原書店

[No.36号 Matrix, No.36\(Sept. 1, 2002\)](#)

- 1) 第73回例会 (平成14年8月4日) 概要 村上 馨
- 2) 講演要旨 中国造船業の現況について 幾田 誠市
- 3) 講演資料 中国の主要造船所 幾田 誠市
中国の主要造船所の新造船設備 海事プレス(2002.3.13)
大連新船重工、上海外高橋造船所写真 幾田 誠市
- 4) 講演要旨 中国について一最近の話題 松崎 征弘
- 5) 講演資料 中国の環境問題 松崎 征弘
- 6) 海洋科学技術交流訪中団報告
1、訪中団事務報告 長尾 實三
2、技術交流会の報告 寺田 政信
3、2002 中国国際航海博覧会見学報告 大内 一之
4、北海 (BEIHAI) 造船所 岡本 洋
5、海軍博物館について 在田 正義
6、青島市の概要 岡田 紀代蔵
7、青島の大学などを駆け足観察 仲渡 道夫
- 7) 中国の WTO 加盟と造船業雑感 田中 藤八郎
- 8) 航空機空中衝突 齊藤 了文
- 9) 海上保安大学校に「国際海洋政策研究センター」設置 山村 晋一郎
- 10) 交流広場の声
海中でのものづくり 渋谷 正信
海上交通システム研究会 (MTS 研究会) へ入会して 神田 修治
- 11) 会報 (①第74回例会予定 他)

12) 編集後記 長尾 實三

PR 「Ship & Ocean Newsletter」編集部からのお知らせ

世界海事大学 寄附講座における講師募集 (中澤 武 幹事 提供)

[No.35号 Matrix, No.35\(Jul. 1, 2002\)](#)

1) 第72回例会 (平成14年5月30日) 概要 村上 馨

2) 第72回例会当日配布資料「我が国海洋政策の課題」(レジュメ) 工藤 栄介

3) 第72回例会当日配布資料「21世紀における日本の海洋政策のあり方」(要旨)

文部科学省科学技術・学術審議会

4) 第72回例会 講演要旨「我が国海洋政策の課題」 工藤 栄介

5) メイリングリスト投稿記事 (第72回MTS例会テーマに関して)

6) 「海の日」に因んで

水の世紀と山紫水明の国『日本』の海洋立国随想 小林 浩喜

「海の日」に「ウミの国日本」を想う 長尾 實三

海の日に海洋日本を想う 田中 藤八郎

「内航海運業界」再編と共同船舶管理会社の設立について 田中 藤八郎

海洋日本を想い、内航海運の復権を願うための苦言 村上 馨

7) 交流広場の声 「海」のある風景 (その2)《シンガポール: オイルリグのテクネゴ》 寺田 政信

8) Eメールコーナー テーマ「海の日に海洋日本を想う」に関し

9) 会報

10) 編集後記 長尾 實三

PR 「Ship & Ocean Newsletter」編集部からのお知らせ

第13回クルーズ客船&フェリー研究会

[No.34号 Matrix, No.34\(Apr. 1, 2002\)](#)

1) 第71回記念例会でのご挨拶 (日本の海事問題とMTSのこれから) 石谷 清幹

2) 第71回記念例会 (70回を超える長寿を祈念して・平成14年2月19日) 概要 村上 馨

3) 第71回記念例会講演要旨 大学統合とこれからの海事教育 原 潔

4) 「トークと座談会」スタート前のご挨拶 長尾 實三

〃 初回発言者 (基調講演者) のプロフィール

5) 「トークと座談会」第一部 造船新時代 —— 「造船は死語か」のその後 岡本 洋

6) 〃 第二部 日本海運・港湾業者よ 奮起せよ!! 岡田 紀代蔵

7) 第71回MTS研究会 記念例会 参加所見 山村 晋一郎

8) 第71回例会: トークと座談会をふりかえって 田中 藤八郎

9) 第71回例会の「ユニークな討議」出現 細野 嘉昭

10) EMコーナー 寺田 政信

11) 交流広場の声 第71回記念例会に参加して 山本 修

12) 会報 (①会員名簿、②平成14年度計画と今後、③企画グループ新設 他)

13) 平成13年度会員名簿 14) 海上交通システム研究会規約

15) 編集後記 長尾 實三

PR 「Ship & Ocean Newsletter」編集部からのお知らせ

No.33号 Matrix, No.33 (Jan. 1, 2002)

- 1) 年頭のご挨拶
 - ・第70回例会でのご挨拶 石谷 清幹
 - ・ボルガの船旅とサンクトペテルブルグ、モスクワ 在田 正義
 - ・客船建造に特化して元気な欧州造船界 池田 良穂
 - ・日本海運、港湾業者よ 奮起せよ！！ 岡田 紀代蔵
 - ・造船新時代—MATRIX 2002年新年号によせて 岡本 洋
 - ・Ship & Ocean Newsletter 工藤 栄介
 - ・狂牛病と工学倫理 齊藤 了文
 - ・機関事故とその周辺への回顧 竹増 正信
 - ・スコピック条項と海難救助における環境損害防止の特別補償について 田中 藤八郎
 - ・イスラム世界を読む 寺田 政信
 - ・危機管理に想うこと 細野 嘉昭
 - ・誤解されやすい海上衝突予防法第40条 堀江 孟史
 - ・外航海運の新世紀改革に期待高まる 本田 啓之輔
 - ・「小泉内閣 メールマガジン考」 増山 雄三
 - ・1999年 夏 宮脇 正明
 - ・戦争と平和と海上交通システムの安全 村上 馨
 - 2) 第70回例会（平成13年12月14日）概要 村上 馨
 - ・海難時における航法適用以前の問題点一見張りの欠如と通用しない抗弁の実態— 鈴木 邦裕
 - ・最近の海上保安業務について 今井 秀政
 - ・海難審判制度の概要と最近の希有例 大本 直宏
 - 3) 会報（①第70回例会報告、②IT活用 他）
 - 4) 編集後記 長尾 實三
- PR（表紙見返し） 『 Ship & Ocean Newsletter 』編集部からのお知らせ

No.32号 Matrix, No.32 (Oct. 1, 2001)

- 1) 海上交通への「テロ」, 「シー・ジャック」 細野 嘉昭
- 2) 工学倫理の観点から H2A ロケットの打ち上げを見る 齊藤 了文
- 3) 第69回例会概要（平成13年9月20日） 長尾 實三
 - ・副会長挨拶（要旨） 長尾 實三
 - ・えひめ丸事件その後の情報（新聞記事） 石田 憲治
 - ・プルトニウム海上輸送裏話（レジュメ及び年表） 細野 嘉昭
 - ・戦後の「日本海運変遷」と海上保安庁行政史的概観について（レジュメ） 細野 嘉昭
 - ・イベントツリー手法による船舶衝突事故発生頻度の評価 松岡 猛
 - ・配布資料説明 長尾 實三
- * 「えひめ丸」引き揚げに海自救護艦が協力 世界週報、2001.9.4
- * 漂流1カ月、船長生還 長崎沖～犬吠埼沖 朝日新聞、2001.8.27
- * インド沖で VLCC 爆発 日本海事新聞、2001.6.15
- * 「エリカ」油濁事故受け—EU、独自の安全対策 着々 日本海事新聞、2001.6.6
- * “同床異夢、の国際船舶（特集）海事社会の断層から 日本海事新聞、2001.7.5
- * 海洋温度差発電プロジェクト 世界から脚光 国際協力相次ぐ 日本海事新聞、2001.5.2
- 4) 日本の海事社会の動向と技術情報データベース構築の課題 西川 英一

- 5) 「内航海運による静脈物流」・・話題提供 上田 一郎
- 6) 団体会員紹介 19
「高品質輸送サービスを目指して」～株式会社エヌワイケイ輸送技術研究所の紹介～
- 7) 交流広場の声 「海からの視点」 星野 裕志
「海」のある風景（その1） 寺田 政信
- 8) 第 68 回例会（平成 13 年 7 月 5 日開催）講演要旨
・統合した包括的な安全衛生マネジメント（第 2 報）
—— 安全（リスク）リテラシーとリスクベースの安全 坂 清次
- 9) 会報（①次回例会、②IT 活用、③会員情報（動静）他）
- 10) 編集後記 長尾 實三
- 11) 出版物ご案内 はじめての工学倫理（表紙見返し） 齊藤 了文 / 坂下 浩司 編著

[No.31 号 Matrix, No.31 \(Jul. 31, 2001\)](#)

- 1) 「渋谷文庫」一旧海軍技術資料一の刊行を喜ぶ 石谷 清幹
- 2) 船舶の航行安全対策について 大野 道夫
- 3) 第 68 回例会概要（平成 13 年 7 月 5 日） 村上 馨
・えひめ丸事故後の動き（毎日新聞記事から） 石田 憲治
・火災安全に関する IMO でのルール策定のプロセス 吉田 公一
・化学プラント事故と米国の事故調査委員会 坂 清次
- 4) マスコミ記事ご紹介
・「えひめ丸」事故、もうひとつの視点 寺田 政信 Ship&Ocean Newsletter No.20
・えひめ丸事故・真相解明の最善策は民事訴訟 Peter Erlinder 世界週報、2001.6.20
・えひめ丸事故 外務省・愛媛県を批判する 井上 正美 朝日新聞・私の視点、2001.5.22
・明治の潜水艇沈没事故 「佐久間艇長の遺書」 産経新聞、h.13.2.27
・「なだしお」が廃艦 衝突事故から 13 年 日本経済新聞、2001.6.1
- 5) 独立行政法人 海上技術安全研究所となって 吉田 絃二郎
- 6) 独立行政法人 海上技術安全研究所 紹介
- 7) 団体会員紹介 18
- 8) 交流広場の声
・本音で語れない？MTS 大野 道夫
・話題提供：どうなるか“水輸送ビジネス” 田中 藤八郎
- 9) 会報（平成 12 年度会計報告、他）
- 10) 編集後記 長尾 實三
- 11) 出版物ご案内 はじめての工学倫理（表紙見返し） 齊藤 了文 / 坂下 浩司 編著